

平成28年実施 町政懇談会の記録(北伊予校区)

地区名	月・日	項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※印は、後日の対応です。)	担当課等
徳丸	7月16日	役場駐車場	役場北駐車場がなくなったが、駐車場確保をどのように考えているのか。	金額面でも優先順位からも難しかった。公共交通機関の利用をお願いするとともに、町有地内での増設を検討している。	総務課
徳丸	7月16日	公共下水道	徳丸地区と砥部町の下水処理をどう考えているのか。	認可区域の整備率は約60%であり、その整備を進める。浄化槽に特化した市町もある。砥部町との協定は確認している。	上下水道課
徳丸	7月16日	消防詰所	第4分団消防詰所の団員の駐車場は、どうなっているのか。	他の地域と同様の敷地面積である。周辺で借れるとことがあればいいと思う。	総務課
徳丸	7月16日	文化センター	文化センター等公共施設の便座が冷たい。	まずは洋式にするところからと思う。 (※文化センターについては、1階の図書館横の洋式トイレをウォシュレット付きの暖房便座トイレにH27年5月に改修しています。)	社会教育課 総務課
徳丸	7月16日	はだか麦	はだか麦は、大腸がんの予防になる。新商品開発の中で考えられたい。	真偽はどうかと思うが、スイーツとかも考えたい。	産業課
徳丸	7月16日	人口問題	人口増に対する考えはどうか。	住宅地の確保が必要であり、場所の選定を考えていきたい。	まちづくり課
徳丸	7月16日	高齢者対策	若い者に対する施策の話が多いが、老人に対する施策はないのか。	高齢者の皆さんに活躍してもらおう環境を創っていくことはやっていきたい。町の活性化を目指す中で、高齢者の対策も充実したものになってくると考えている。 (※多くの元気な高齢者の方に地域づくりに参画していただきたいと考えており、そのひとつとして、日常生活において支援が必要となった高齢者を「元気な高齢者」が支えることができる体制づくりを推進していきたいと考えています。)	健康課
中川原	4月20日	台地泉	台地泉の整備をするなら、参考として東温市の三ヶ村のような、なるべく昔ながらの自然が残るようにしてほしい。	今の泉はそのままの形で置き、周辺にあずま屋を作ったり、木を植えたり、簡単な遊具の設置をしたりといったことを考えている。	まちづくり課
中川原	4月20日	防災行政無線	公民館の放送が聞こえにくい。災害時に大事な情報が聞こえないことになるのではないのか。	防災行政無線で聞こえにくいところがあれば、確認して調整等を行うこととしている。町へ状況を知らせてほしい。 (※防災行政無線の放送を聞き逃した場合は、専用電話で放送の内容を確認することができます(961-7111)。また、各地区自主防災組織の会長宅に防災行政無線個別受信機を貸与しているので、緊急時等の情報伝達に利用することとしています。)	総務課
中川原	4月20日	チャイム	子どもは時計を持って出掛けないので、17時になったのが分かるように(防災行政無線で)、チャイムとか音楽を放送するのはどうか。	御意見として聞かせていただきたい。	学校教育課
中川原	4月20日	通学路街灯	通学路で暗い所がある。充電式のライトなどの設置を考えてほしい。	今年通学路の一斉点検をするようにしており、危険な通学路については対応を考えていきたい。また、街灯設置の必要な場所がある場合は、まちづくり課へ要望していただければ対応している。ただ、電気代は地域の負担になる。 (※街灯の設置については、原則的に大字からの要望を受けた後、設置についての検討を行ってきましたが、H29年度は役場が中心となり、学校教育課などと協力した夜間の点検実施についても検討します。)	まちづくり課 学校教育課

平成28年実施 町政懇談会の記録(北伊予校区)

地区名	月・日	項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※印は、後日の対応です。)	担当課等
中川原	4月20日	ふるさと納税	ふるさと納税が少ない。はだか麦をお返しにしたらどうか。	ふるさと納税の返礼品が、町の特産品をPRする場にもなるので、工夫していきたい。	総務課
中川原	4月20日	小学校	北伊予小のトイレの改修をお願いしたい。特に1階がひどく、1年生が非常に困っているようだ。	H28年度は、デジタルテレビを各教室に設置する予定であり、トイレの件は優先順位をつけて整備していきたい。 (※デジタルテレビについては、H28年9月までに設置済みです。北伊予小トイレについては、排水管の傾斜がとりにくい立地場所のため、改善するには大規模な改修工事を行う必要があります。多額の費用がかかります。限られた予算の中で緊急性を要する他の改修を優先して行っていますが、今後検討していきたいと考えています。)	学校教育課
中川原	4月20日	通学路	通学路でもある永田交差点と、神崎の踏切付近は危険である。松前や岡田で見かける、スクールゾーンの青色でも塗ってもらったら、通学する時に安心して通学できると思う。	スクールゾーンの青色の件につきましては、PTAからも要望をあげてもらえれば、できるように検討したい。 (※スクールゾーンの道路の塗装は、保護者からの要望も踏まえて、学校から教育委員会所管の通学路安全対策推進会議に通学路危険箇所の状況を報告してもらい、施設管理者と合同点検を実施の上、町が設置したものです。御要望の趣旨を学校に伝えておきます。)	学校教育課 まちづくり課 町民課
中川原	4月20日	産婦人科	松前町に産婦人科がない。小児科も少ない。どうにかならないか。	町が誘致することは難しいが、NTT社宅跡地に病院ができるかもしれないので、期待したい。	健康課
中川原	4月20日	金婚式	金婚式の表彰の通知を、広報まさきだけでなく、個人に通知できないか。	全員の戸籍が松前町にあるわけではないので難しい。該当する本人が注意して確認してほしい。 (※申出は、健康課にて年間を通じて受け付けています。)	健康課
中川原	4月20日	県道	県道の中川原橋付近の渋滞がひどい。県へ要望してほしい。	渋滞は把握している。県に確認してみる。 (※H28年8月29日の知事要望事項に含め要望したところ、松山外環状道路の整備に併せ、松山側の県道が整備され右折レーンが延長されることから、渋滞の緩和につながるのではないかと回答を得ました。)	まちづくり課
中川原	4月20日	県道	永田交差点と岡田(昌農内)交差点の拡幅を望む。	これまでも県に要望しているが、これからも要望を継続する。 (※H28年8月29日の知事要望事項に含め要望したところ、今後も緊急性の高いところから実施する予定であるとの回答を得ました。)	まちづくり課
中川原	4月20日	踏切	JR車両基地移転に伴い、踏切の遮断時間が増えるという。高架にできないか。	高架にすることは、大変難しい。遠回りにはなるが、農免道路や出作の高架橋を利用してほしい。 (※北伊予駅には、線路をまたぐ歩行者用通路を整備する予定です。)	まちづくり課
中川原	4月20日	防災	S18年に重信川が決壊して水害にあった。近年の異常気象の中で不安がある。防災対策はどうか。	重信川は、150年に1回くらいの豪雨を想定し整備をしている。鬼怒川の例もあり、管理している国土交通省は、全国の1級河川を対象に点検するとともに、ソフト面についても町村と一緒に検討し、対策を講じていくことになっている。	総務課 まちづくり課

平成28年実施 町政懇談会の記録(北伊予校区)

地区名	月・日	項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※印は、後日の対応です。)	担当課等
中川原	4月20日	介護	デイサービスの迎いの時間帯が遅すぎる。利用料の安い所に入所したい。	利用料は、市町によってあまり変わらない。介護サービスの内容については、介護支援専門員(ケアマネージャー)や利用している事業所に相談してほしい。 (※利用料は、国が定めた一律料金であるため変わりません。)	健康課
出作	4月25日	JR北伊予駅自由通路	JR北伊予駅自由通路はエレベーターも付けるということであるが、整備費の見込みはどうか。	H28年6月補正で設計費を計上する。今後事業費を計上していくが、H30年度完成予定としている。実際の工事費については、来年度の予算での計上を考えている。	まちづくり課
出作	4月25日	文化協会	文化協会陶芸教室は、自前で釜を購入した。補修費の補助をお願いしたい。	社会教育団体への補助金支出については、今後も事務事業評価をして決めていく。	社会教育課
出作	4月25日	医療費	義務教育期間中の医療費を無料にするのはよいことであるが、後期高齢者の医療費の3割負担をせめて1割負担にしてもらいたい。	子どもの医療費については、本来は国がやるべきことだと思っているが、人口減少を抑えるために、町として取り組んだものである。後期高齢者の医療費についても、基本的には国の政策だと思っている。後期高齢者の医療費を町が負担するのは無理である。	保険課
出作	4月25日	校区意識	松前町には3校区あるが、校区意識が強く一つになっていない。	松前・岡田・北伊予という旧町村意識が残っているのは、小・中学校が一貫しているためだと思う。中学校を一つにするということも考えられるが、そうすると、先生方の目が生徒に届かなくなって、学校が荒れるかもしれないという危惧もある。	学校教育課
出作	4月25日	調整区域	子どもの数が減少し、運動会で分団リレーもできない。少子化対策のために調整区域の宅地化ができないか。道路の周辺だけでもどうか。	調整区域を外すのは、優良な農地をなくすことにもなり、農林水産省の規制が厳しい。また、外すと税金は高くなる。調整区域を外したものの、人が来なければ、ただ税金が高くなるだけになるので、松前を元気にするということを基に、慎重に進めていく必要がある。	まちづくり課
出作	4月25日	筒井徳丸線	町道の筒井徳丸線は、国道から徳丸の方に延ばす計画はないのか。	今のところ考えていない。中川原橋付近の渋滞等もあるため、優先関係を考えながら検討したいと思っている。	まちづくり課
神崎	4月18日	JR北伊予駅自由通路	JR北伊予駅自由通路は費用対効果ではなく、安全面から考えてほしい。	北伊予駅の件は、安全確保という効果と、造ることで地域が活性化する効果があると判断している。今後十分説明をして理解を求めていきたい。	まちづくり課
神崎	4月18日	ふるさと納税	ふるさと納税のお礼の品を、福祉通貨のようなものにしたらどうか。	返礼品で募るということについては、疑問もあるが、ふるさと納税の充実のため研究していきたい。	総務課
神崎	4月18日	ゆるキャラ	「はんぎり」より「おたたさん」の方が有名ではないか。まちおこしに生かしたらどうか。	おたたさんは歴史があり、ストーリー性があり、松前町独特の歴史のある存在なのでまちおこしに生かしたい。そのため、ゆるキャラである「おたたちちゃん」はいいと思うので、今年県内で開催されるゆるキャラグランプリにエントリーを考えたい。 (※おたたちちゃんは、H28年11月のゆるキャラグランプリにエントリーして348位でした。)	産業課

平成28年実施 町政懇談会の記録(北伊予校区)

地区名	月・日	項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※印は、後日の対応です。)	担当課等
神崎	4月18日	高齢者	高齢者対象の「水中らくらく運動」の募集がなくなっている。継続してほしい。	帰って調べてみる。 (※プール使用型の介護予防事業については、利用実績の低下や、利用者の固定化などによりH27年度で終了しました。健康課が行っている事業は、皆さんへの動機付けです。周知後は、自分たちでできるようにしていただきたいと考えています。)	健康課
神崎	4月18日	裸麦	はだか麦の6次産業化ということで、商品開発しているというのは素晴らしいが、麦の作付面積が少ない。作付面積を増やすことに力を入れてほしい。	はだか麦パンができて、はだか麦が足りないという話も耳にした。新商品開発となると、松前町だけのはだか麦では足らなくなるかもしれない。農業者も商品になると分かれば、作付面積の増加につながる可能性もある。新製品を開発する中で、考えていきたい。	産業課
神崎	4月18日	調整区域	松前町の人口を増やしたいが、国道から東が全て調整区域である。市街化区域にできれば人口増につながる。	松前町に住みたいが土地がないとの話はよく耳にする。調整区域を外す件については、ハードルもかなり高く難しい。しかし、これからの松前町の土地利用について、考えていかなければならない段階にきていると思っている。	まちづくり課
神崎	4月18日	学校給食	給食業務が民間委託されたが、調理員と栄養士との関係が大事である。衛生面にも注意をしてもらいたい。	給食センターは、調理の部門と配送の部門と洗浄の部門を民間委託した。調理員十数名は、以前から働かれていた方で、新しい方のほうが、ごく僅かである。子供達にとって安心安全な給食であるかどうかを、教育委員会としても見極めていきたいし、業者にも指導すべきことはしていく。	学校教育課
神崎	4月18日	高齢者対策	少子化対策とともに高齢者対策を望む。	高齢者の皆さんに活躍してもらおう環境を創っていくことはやっていきたい。松前町の活性化のため、また、人口減少対策には、若いお母さん世代の方に松前町に移り住んでもらうことが必要だと思う。活性化の中で、高齢者の対策も充実したものになっていくと考える。 (※多くの元気な高齢者の方に地域づくりに参画していただきたいと考えており、そのひとつとして、日常生活において支援が必要となった高齢者を「元気な高齢者」が支えることができる体制づくりを推進していきたいと考えています。)	健康課
鶴吉	4月28日	県道	県道214号線の交通量が増大している。エミフルができてから2～3年間、交通量が以前の倍程になっている。また、8トンの大型車が通ると、建物が振動する。今度新しくJR貨物車両基地ができるために、ますます大型車の交通量が増えると思われる。県の方に要請してほしい。	もともと県道伊予川内線を走っていた大型車の通行が、増えている状況があると思われる。振動の状況のデータをとって県に報告したり、伊予署へ交通規制を頼んだり、東レの関連業者であれば、伊予川内線へのルートの変更の要望の話をしてみようと考えている。 (※H28年8月に振動調査を行ったところ、基準値以内の数値でありました。)	まちづくり課
鶴吉	4月28日	又泉	又泉にヘドロが堆積しているので、取り除いてほしい。福德泉のような整備を願う。	地元がどうしていきたいかの構想が必要。ある地域では、泉は自然のまままでということで、触ってくれるなというところもあった。	まちづくり課
鶴吉	4月28日	ホッケー場	新しいホッケー場を無償で使わせてほしい。	地元の行事に使いたいとか、運動会に使いたいとかの申し入れがあれば、優先的に使用できるようにしたいと考えているが、無償というのは難しいと思う。	社会教育課

平成28年実施 町政懇談会の記録(北伊予校区)

地区名	月・日	項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※印は、後日の対応です。)	担当課等
鶴吉	4月28日	ホッケー場 周辺道路	ホッケー場と東のグラウンドの間の道は、農作業する人が優先的に通行できるということを、今までどおりお願いしたい。また、西へ道ができたが、入り口はよいが、出口は軽四が回れないほど狭い。確認の調査をお願いしたい。	現地を確認してみる。 (※地元の方の優先的な通行については、ホッケー公園を整備したことよって、これまでの通行を妨げるものではないと考えています。また、新たに整備した道路については、区長さんと現地を確認し、農耕車が回れる程度の隅切りを設置することとしています。)	まちづくり課 社会教育課
鶴吉	4月28日	橋	鶴寿荘西の橋は、老朽化して通行止めになっている。取替えをお願いしたい。	川を直して拡幅するときに既に橋があった場合、県が補償で橋を作ることになる。町道の橋ではないようなので、町で取り替えるのは難しい。 (※河川改修に併せて整備した農道橋であると思われます。現在は、老朽化が激しく通行止めとなっているようですが、橋の利用者も限られ町道でもありませんので、橋の架け替えは予定していません。)	まちづくり課
鶴吉	4月28日	道路	鶴寿荘から西の農道は、舗装していない道路のため鶴寿荘に救急車が行く際にも南の道を通って入っている。農道を舗装して救急車が入っていけるようにすれば、救急隊の到着も早くなると思う。ゴミの収集車も通るため傷みも激しい。	道路の補修や舗装については、大字の方から要望を出していただくと、我々が現地の視察に行った上で、優先順位を判断しながら予算の範囲内で順次整備を進めている。早急に補修が必要だということであれば区長さんを通じて町の方に要望してほしい。 (※当該農道は、新JR貨物車両基地へのアクセス道路建設に併せて、事業化を検討したいと考えています。)	まちづくり課
鶴吉	4月28日	信号	晴光院前の信号とくろだ病院南の信号の連動を、伊予署へ要望してほしい。	要望する。 (※地元から町民課に要望をしていただければ、町民課経由で伊予署に要望します。)	町民課
横田	5月27日	病院	総合病院の計画はないのか。	総合病院があればいいが、松山広域圏で考えるべき課題である。	健康課
横田	5月27日	河川管理	大谷川の(北東部分の)カーブのところが、砂がたまっている(改修できていない)。	県への要望事項としたい。 (※H28年度も県へ要望したところ、大谷川の河床掘削については一部予算措置がされ一部実施されました。現況を確認しながら引き続き必要に応じて要望していきます。)	まちづくり課
横田	5月27日	通学路	JR車両基地整備に伴い新設される南北道路と県道八倉松前線の交差点となる部分に横断歩道をつけてほしい(通学路である)。	開通時には県や伊予署と相談して対応したい。 (※事業主体の県に確認したところ、新JR車両基地へのアクセス道路と県道八倉松前線との交差点には、横断歩道を計画しているとの回答を得ました。)	まちづくり課 学校教育課
横田	5月27日	JR基地	JR貨物車両基地の排水対策はどうなっているのか。(油が流れてくるかも)	今後計画を確認してチェックする。 (※新車両基地からの排水は、瀬戸内海環境保全特別措置法の規定に基づき、許可申請が必要となることから、法律によって適正に管理されることと考えています。)	まちづくり課
横田	5月27日	ひまわりバ	ひまわりバスが横田地区内を通っていない。	検討させてほしい。	町民課
横田	5月27日	JR北伊予駅 自由通路	北伊予駅自由通路の完成時期はいつか。	H30年度中には完成させたい。	まちづくり課

平成28年実施 町政懇談会の記録(北伊予校区)

地区名	月・日	項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※印は、後日の対応です。)	担当課等
横田	5月27日	県道	横田内の県道は、大型車両の通行により、道路面が傷んでいる。	県への要望事項としたい。	まちづくり課
横田	5月27日	避難所	避難対策はどうか。	指定避難場所は北伊予小・中学校及び健康増進センターになるが、普段から自主防災組織等で、避難場所や避難ルートについての話を望む。	総務課
横田	5月27日	調整区域	調整区域で開発ができない。解除はどうか。	町内の土地利用は見直すことにしたい。ただ、人口減少の中では解除しても、住宅地として売れなければ税金が上がるだけになる。どこを見直すかを考えたい。	まちづくり課
横田	5月27日	耐震診断	耐震診断の申込み状況を聞きたい。	熊本地震以降申込みが増加している。現在44件である。	まちづくり課
横田	5月27日	河川改修	河川改修をお願いしているが、5年たってもできない。	国費の付き具合により、事業化している。H28年6月補正で計上予定であるが、全部はできない見込みである。 (※H28年度は、改修予定延長の半分程度が完成しました。残りの区間については、H29年度に改修予定としています。)	まちづくり課
横田	5月27日	河川管理	大谷川の雑草の繁茂がひどい。ガマの穂が喘息の原因になっているかも。	健康被害があるようであれば、それも含めて県へ要望する。 (※H28年8月29日の知事要望事項に含め要望したところ、治水上支障がある場合には対応するとの回答を得ました。なお、県において大谷川の一部予算措置がされたこともあり、一部区間についてH28年末頃河床の雑草の刈り取りを実施しました。)	まちづくり課
横田	5月27日	JR横田駅 駐輪場	JR横田駅の駐輪場の整備について	土地が伊予市との共有となっており、協議が必要になる。 (※現在協議中です。)	町民課
横田	5月27日	水道	JR予讃線の南は町の水道が利用できない。どうにかできないか。	JRの線路の下に水道管を布設することは、なかなか許可されないと聞いている。	上下水道課
大溝	4月7日	県道交差点	永田の交差点は、10年程前から毎年広がると言われているが、予定はどうか。	昨年度に県知事に対し、交差点の改良を要望したが、現在は休止状態になっているとのこと。引き続き要望をしていく。 (※H28年8月29日の知事要望事項に含め要望したところ、今後も緊急性の高いところから実施する予定であるとの回答を得ました。)	まちづくり課
大溝	4月7日	道路舗装	町道東13号の舗装が4分の1しかできていない。3年経ってもそのままであり、お願いしたい。	町道の舗装に関しては、地域から要望をいただき、現地を見に行き、優先度の高い所から実施している。限られた予算であり、優先順位を付けて整備していくこととしている。 (※町道東13号線の舗装補修については、地域からも要望をいただき、町としても事業化の判断をしていますが、限られた予算の中で全ての事業に対応できない状況です。事業年度は決まっていますが、なるべく早い時期に対応したいと考えています。)	まちづくり課

平成28年実施 町政懇談会の記録(北伊予校区)

地区名	月・日	項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※印は、後日の対応です。)	担当課等
大溝	4月7日	農業委員	農業委員会法が改正され、農業委員と推進員となるが、そのことはいつ農家に知らせるのか。	条例改正はH28年12月までに議会で決定する必要がある。今後広報・HP等でお知らせし周知を図っていく。 (※条例改正については、H28年12月議会で可決済みで、制度改正の周知については、H28年広報6月号でお知らせし、現在も町HPに掲載中です。また、H29年広報1月号に制度改正について再度お知らせし、農業委員、農地利用最適化推進委員候補者の募集を行いました。)	産業課
大溝	4月7日	たわわ祭	たわわ祭に各大字ブースがあってもいいのではないか。	今までは、広報で各種団体、企業等に募集していたが、大字のブースを設けることについては、検討協議会で検討したい。 (※H28年度は大字の出展も可能として、町内で活動している公共性のある団体を広く募集しましたが、申込みがありませんでした。)	産業課
大溝	4月7日	保育所	松前町の臨時保育士の給料は、昇給制度がない。また、勤務内容も厳しいと聞いている。保育士の確保の面からも、昇給制度があればいいと思う。	臨時保育士の昇給制度はありません。ただ、保育士の確保は待機児童を出さないためにも大変重要であるため、臨時保育士の待遇や賃金等は、周辺の状況も考慮しながら決定していきたい。	総務課
大溝	4月7日	ふるさと納税	松前町のふるさと納税の状況はどうか。松前も特産品があるので、ふるさと納税に活用できればと思う。	松前町のふるさと納税の実績は100万円くらい。返礼品として、はだか麦や珍珠等を用意しているが、あまりPRはしていない。返礼品の制度がふるさと納税の本来の趣旨と異なっているのではないかとの思いもあるが、松前の特産品をPRする場として活用を考えていきたい。	総務課
永田	4月22日	防災	九州で地震があった。愛媛にも中央構造線が通っている。松前町は大丈夫か。松前町の防災体制はどうなっているのか。	松前町内には中央構造線は通っていないが、南海トラフ巨大地震は心配される。災害対策として、まずは自助が大事。建物の耐震化や、速やかな避難を心がけてもらいたい。次に共助。地域の自主防災会で日頃からいざという時にどういう行動をとるか、地域で話し合いをしていただきたい。公助は被害が大きいところに重点を置くことになる。	総務課
永田	4月22日	遊具	公園の使えない遊具は、撤去したらどうか。	最近では、遊具を撤去していく傾向がある。子育て世代は近隣に遊具のある広場が欲しいという声もあるので、地域として設置しやすい制度を検討し、子供達が遊べる所を増やしていきたい。 (※遊具設置の場合は、H29年度から地元負担なしで設置できるように、補助制度を変更しました。)	町民課
永田	4月22日	県道	県道214号線の消防署前から永田交差点までは、交通量が多く、通学児童が危険である。また、振動がひどい。	県へも要望するが、道路の拡幅は難しい。東レに係る車両については東レに申し入れする。 (※H28年8月振動調査を行ったところ、基準値以内の数値でありました。)	まちづくり課
永田	4月22日	筒井徳丸線	町道筒井徳丸線の東への延伸はどう考えているか。	現在のところ考えていない。中川原橋の渋滞を優先して何とかしたいと考えている。	まちづくり課
永田	4月22日	原発	町として、原子力発電に対し、どう考えているのか。	難しい問題であるが、国が厳正に審査をした上で、専門家の意見も踏まえ安全と評価した上での再稼働であり賛成する。ただ、原発の依存度は、下げていくことが必要だと考えている。	総務課

平成28年実施 町政懇談会の記録(北伊予校区)

地区名	月・日	項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※印は、後日の対応です。)	担当課等
東古泉	3月20日	JR北伊予駅自由通路	JR北伊予駅自由通路は、全ての北伊予地域には貢献しない事業ではないか。踏切をもう一箇所増やすとかするのはどうか。JRの負担で整備できないのか。	JR貨物車両基地ができると、列車の本数が現在の100本ほどから150本程度に増え、踏切の遮断時間の増加が考えられる。全ての地域に貢献しないと公共性がないとなると、何もできなくなる。北伊予の発展は松前町の発展にもつながると考えており、御理解を願いたい。踏切を増やすと他の踏切を減らさなければならなくなる。また、この事業は松山駅の高架に伴う関連事業であり、JRの負担はない。国・県からの補助金や有利な地方債の借入れができる今、実質的な町の負担がかなり軽減されることから、この機会に整備しておくのがよいと考えている。	まちづくり課
東古泉	3月20日	ひまわり栽培	ひまわり栽培委託事業について、夏の暑い盛りに収穫したりと手間もかかるため、他の地域は栽培を減らしたり栽培自体を辞めたりしているの、方向性を示してほしい。このまま松前町がこの事業を進めていくのなら、他の地域も栽培してほしい。	地球温暖化防止として、バイオマスエネルギーを推奨している。バイオディーゼル燃料(ひまわり油等が原料)が伊予鉄バスに認められ、町内を巡回する路線バスのひまわりバスに利用されたりと用途が広がれば、是非、他の地域にもひまわりづくりを推奨していきたい。 (※H28年8月24日からバイオディーゼル燃料と軽油を混合したB5燃料が、ひまわりバスの燃料に採用されました。)	町民課
東古泉	3月20日	議会中継	議会中継の録画がなかなか見えない(数日後になる)。	なるべく早く見えるようにならないのか確認する。 (※議会終了後、録画が見やすいように休憩時間のカット、一般質問の各議員の始まりの時間設定などの確認作業に時間が必要となります。松山市においても公開までに同じような期間を必要としているので御理解願います。)	議会事務局
東古泉	3月20日	町会計	町の会計について、複式簿記に移行することになっていると思うが、進捗状況はどうか。	複式簿記に移行するためには、資産の洗い出し等が必要であり、これから整理していく。下水道会計については、現在手がつけられていないが、町全体で順次取り組んでいく。	財政課 上下水道課
東古泉	3月20日	北小トイレ	北小のトイレが古くて汚い。バケツで流さないといけないうちもある。早急に調査し、直してほしい。	状況は把握している。耐震工事では、建物の内側は手を加えていない。再度検討する。 (※北伊予小トイレについては、排水管の傾斜がとりにくい立地場所のため、改善するには大規模な改修工事を行う必要があり、多額の費用がかかります。限られた予算の中で緊急性を要する他の改修を優先して行っていますが、今後検討していきたいと考えています。)	学校教育課
東古泉	3月20日	通学路	県道八倉松前線の東古泉・大溝などの小学生の通学路は、大型車の通行量も多く、JR貨物車両基地ができると、さらに大型車の通行量が増加し、危険である。伊予高校の通学路でもあるため、歩道と車道を分離する等もっと強固なものにするか、もしくは通学時間帯の大型車の通行を規制するようにできないのか。	通学路については、その他の場所も危険な箇所がある。4月から松前町の小学校全域で、国、県、町、警察、学校等が協力し、1年かけて通学路の安全点検とその対応を図ることとしており、危険箇所については対応を検討する。	まちづくり課 学校教育課
東古泉	3月20日	町の取組	松前町は、自然災害の危険性が低く、災害に係る予算も少なく済む。松前町の資源を集中させ、町の代名詞と言われるようなものをつくるのはどうか。	松前町の売りは必要であり、事業においても選択と集中は大切である。今は、子育てに集中したいと考えている。子育て世代に住んでもらえるようなまちを目指したい。	総務課(全課)